

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 ゆめなーるらぽ正明寺教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ゆとりのある空間です。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の人数を配置している。 各部屋にスタッフが1、2名はいるように全体を見ながら、工夫、連携して動いている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差のない空間です。 畳のスペースのみ高さはある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日朝のミーティングを行い、情報共有を行っている。 効率よく改善できるようにPDCAを回している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者のニーズを全スタッフで把握し改善つなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年HP上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部やWEBの研修が充実している。 WEB研修を各自のペースで受講できている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズを共有し、全員でミーティングを行い計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全スタッフが、それぞれに考えて案を出し合い、より良い支援につながるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			全スタッフで2カ月先までの見通しを立てて話し合っている。 毎日テーマが変わるように内容を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々のスケジュール作成を1か月毎にしている。 曜日ごとに合った活動プログラムを組んでいる。 休日は午前・午後で活動を変えており、特に長期休暇時には連続した実験も多く取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月・木・土の時間が確保できる曜日は集団でできるものをなるべく活動に取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず朝のミーティングでそれぞれの動きや取り組みについて共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に話し合い、翌日の朝のミーティング時により詳しく共有し、振り返っている。それにより、個々のスタッフの支援の幅も広がってきている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録・専門的支援記録・連絡帳を毎日実施し、各部門ごとに記録をとっている。 他教室とも情報共有ノートを使用している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎の見直しの際には、モニタリングの内容を共有し、全スタッフで意見をだしあっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			意識して実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児発管が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			下校時刻の確認を行っている。 当日の子どもの様子をに学校の先生方に確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			課題を見つけてより成長できるように支援方法などを伝えられるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者が自宅でできる支援として、ほめポイントを導入している。 保護者会の実施をおこないます。（本年度は感染症対策の為、中止になりました。）
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話対応時に悩みや困り事を聞き、教室内でも支援方法を伝える。 その子に合った専方法を考え提案するなどしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会の実施をおこないます。（本年度は感染症対策の為、中止になりました。）

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			起こった日に全スタッフに報告、共有、事実確認、対応をしている。 迅速に対応出来るようにLINEを使っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の活動予定表や、毎日のブログ等で行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			重要なものは鍵付きの書庫にて厳重に保管している。 来訪者等に目につかない場所に置くよう工夫している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳や送迎時の報告を大切にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを全員が理解している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回防災訓練と、年2回避難訓練を行っている。 避難場所や経路を確認し子どもたちと一緒に実際に歩いて行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月末にチェックリストにて確認をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			全スタッフで話し合い、十分に検討を行っている。 しっかりと同意をもらってから対応し、報告書の作成・共有を徹底している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			一覧表を作り、いつでも見れるように掲示して共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生時に都度作成して共有している。 日々のミーティングでも共有し報告書を作成している。